



Release Identification: LT3582

2009.05.27

## **リニアテクノロジー、新製品「LT3582/ LT3582-5/ LT3582-12」を販売開始**アクティブ・マトリックス OLED & CCD バイアス向け昇圧および反転 DC/DC コンバータ

2009 年 5 月 27 日 - 高性能アナログ IC のリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、アクティブ・マトリックス OLED (organic light-emitting diode) ディスプレイや CCD (charge coupled device) アプリケーションをはじめ、多くのバイアス・アプリケーションに必要な正出力と負出力の両方を供給する、デュアル・チャネル DC/DC コンバータ「LT3582」、「LT3582-5」、「LT3582-12」の販売を開始しました。LT3582EUD、LT3582EUD-5、LT3582EUD-12 はすべて 3mm x 3mm QFN パッケージで供給され、1,000 個時の参考単価は 237 円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細については、www.linear-tech.co.jp をご覧ください。

LT3582/-5/-12 は、アプリケーションの要求に応じて出力電圧、電源シーケンシング、出力電圧ランプを動的に設定可能な  $|^2$ C インタフェースを備えています。これらのパラメータは、内蔵の不揮発性 OTP (one time programmable) メモリを使用して製造時に設定し、永久に保持することも可能です。LT3582 の正出力電圧は、3.2V ~ 12.775V の範囲で 25mV 単位、負出力電圧は - 1.2V ~ - 13.95V の範囲で 50mV 単位で設定可能です。 LT3582-5 は + 5V と - 5V 、LT3582-12 は + 12V と - 12V の出力があらかじめ設定されており、多くの信号調整アプリケーションで有用です。

LT3582 シリーズは、2 個のモノリシック・コンバータ(昇圧 1 個、反転 1 個)を内蔵しています。昇圧コンバータはパワースイッチと出力切断スイッチを内蔵しています。反転コンバータはシングル・インダクタ・トポロジーを採用し、パワースイッチを内蔵しています。昇圧と反転のいずれのコンバータも 新しい制御方式を採用しているので、電圧リップルを低く抑えると同時に、広範囲の負荷電流に対して高い変換効率を達成します。LT3582/-5/-12 は入力電圧範囲が 2.55V ~ 5.5V なので、リチウムイオン・バッテリ駆動アプリケーションに最適で、88%という高い効率を達成します。このような機能を 325 μ A 以下の消費電流で実現する LT3582 は、バッテリ寿命を最大限に延ばすことができます。小型の外付け部品を使用し、帰還抵抗が不要で、3 x 3mm の小型 QFN パッケージで供給されるので、ハンドヘルド・アプリケーション向けに実装面積の小さい(<50mm²) ソリューションを提供します。

## LT3582 の特長:

- 出力電圧: 3.2V~12.775Vと-1.2V~-13.95V(LT3582)
- 5V と 5V (LT3582-5)
- 12V と 12V (LT3582-12)
- I<sup>2</sup>C を介してデジタル再設定可能(LT3582):出力電圧、電源シーケンシング、出力電圧ランプレート
- 不揮発性 OTP を使用して設定可能なパワーアップ・デフォルト (LT3582)

## リニアテクノロジー株式会社 www.linear-tech.co.jp

- I<sup>2</sup>C 互換インタフェース(標準モード)
- すべてのパワースイッチを内蔵
- 350mA の電流制限 (昇圧)
- 600mA の電流制限 (反転)
- すべての帰還抵抗を内蔵
- 入力電圧範囲: 2.55V~5.5V
- 低消費電流:アクティブ・モードで325 µ A、シャットダウン・モードで0.01 µ A
- 出力切断機能を搭載
- 小型 16 ピン 3mm × 3mm QFN パッケージ

フォトキャプション: アクティブ・マトリックス OLED & CCD バイアス向けの昇圧および反転 DC/DC コンバータ

Copyright: 2009 Linear Technology

以上